

美作三湯 芒術温度

Three hot springs of Mimasaka
Art temperature

2025 8.29^{FRI} → 12.7^{SUN}



ご挨拶

今回で4回目となるアートプロジェクト《美作三湯芸術温度2025》は温泉宿等27か所に県内外の気鋭のアーティスト31名が参加し、過去最大規模で行われます。

サブタイトルの〈温泉にアートがあるということ〉とは、受け手に対しての問いかけ、考えさせる余白、日常と非日常が交差する瞬間、身体を癒す場所としての温泉と感覚を揺さぶる存在としてアートが出会うことで生まれる“感受の温度”を感じ取ってほしい、という願いを込めています。

温泉は癒しの空間であると同時に、地域の記憶が堆積した生きた空間でもあります。そこにアートがあるということは、空間の意味が一瞬揺さぶられ、あらためて土地を「感じる」契機となります。三湯それぞれの空間にアートがじんわりと染みわたる時間と空間をご期待ください。

アートはただ目を楽しませるだけのものではなく温泉という場所が持つ身体性・歴史性・生活文化に向き合いながら、その“見えにくさ”を浮かび上がらせる存在となります。

このイベントは地域と共につくるアートプロジェクトとして日常のなかに潜む時間や違和感、静けさやざわめきをすくい取りながら“芸術の温度”を訪れる人と分かち合う場の提供を目指しています。

日常から少し離れた時間と空間の中で、お湯につかりながらその土地の風景や歴史、人の思いに触れながら、ゆっくりとお楽しみください。

美作三湯芸術温度 キュレーター
奈義町現代美術館 館長 岸本和明

令和7年8月



～温泉にアートがあるということ～

みまさかさんとうげいじゅつおんど

美作三湯芸術温度 2025



岡山県北にある西日本有数の温泉地である美作三湯（湯原、奥津、湯郷温泉）の温泉宿等に県内外のアーティストが作品を制作・展示する回遊型アートイベントです。

温泉の温もり、温泉宿の温かいおもてなし、アート鑑賞した後の感動など、実際に体感できる感覚を「温度」という言葉に託しています。訪れる人にこの「温度」を感じてもらいたい、アート作品から新しい感動や発見をしてもらいたいという思いを込めて、奈義町現代美術館の岸本和明館長をキュレーターに迎え、2016年から3年ごとに開催しています。

今年で4回目となるこのイベントで、ぜひ、温泉にアートがあるというここでしかできない体験をお楽しみください。

開催期間

令和7（2025）年8月29日（金）～12月7日（日）（101日間）

開催場所

美作三湯（湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉）

キュレーター

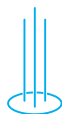
岸本 和明（奈義町現代美術館 館長）

アーティスト×温泉宿

地域	アーティスト	展示施設	ジャンル
湯原	櫻尾 聡美	ゆばらの宿 米屋	美術家
	ぐしけんしおり	ブチホテルゆばらリゾート	絵画
	胡桃澤 千晶	湯原ふれあいセンター	美術家
	児玉 知己	湯快感 花やしき	絵画
	高本 敦基	湯原国際観光ホテル 菊之湯	現代美術
	田淵 智也	松の家 花泉	絵画
	徳持 耕一郎	下湯原温泉ひまわり館	造形作家
	波賀野 文子	さつき荘	絵画
		下湯原温泉ひまわり館	
	原倫太郎+原游	ゆばらの宿 米屋	美術家
	藤原 裕策	湯原ふれあいセンター	美術家
	松岡 徹	元禄旅館 油屋	美術家
		湯の蔵 つるや	
湯郷	三橋 直人	我無らん	写真
		湯原国際観光ホテル 菊之湯	
	山部 泰司	八景	絵画・現代美術

地域	アーティスト	展示施設	ジャンル
奥津	小野 耕石	池田屋 河鹿園	美術家・版画家
	北川 太郎	池田屋 河鹿園	彫刻
	染谷 悠子	池田屋 河鹿園	絵画
	中島 麦	米屋倶楽部 奥津	美術家
	長谷川 さち	池田屋 河鹿園	彫刻
	藤沢 まゆ	花美人の里	染色画家
	藤田 雅也	道の駅奥津温泉	彫刻
	松村 晃泰	道の駅奥津温泉	彫刻
	森山 知己	名泉鍵湯 奥津荘	日本画

地域	アーティスト	展示施設	ジャンル
湯郷	太田 三郎	花の宿 にしき園	美術家
	片山 高志	ゆのこう館 Will be	絵画
	胡桃澤 千晶	ふくます亭	美術家
	柴川 敏之	和モダンなお宿 かつらぎ	絵・インスタレーション
	高橋 直宏	湯郷グランドホテル	絵・インスタレーション
	田代 卓	やさしさの宿 竹亭	絵画・オブジェ
	寺本 明志	リゾートイン湯郷	絵画
	徳持 耕一郎	ボビースプリングスリゾート&スパ	造形作家
	花房 紗也香	ゆのこう美春閣	絵画
	藤原 裕策	ふくます亭	美術家
	森本 啓太	季譜の里	美術家



美作三湯芸術温度2025によろこそ！

ハンドブックのお取り扱いについて

美作三湯芸術温度2025では、参加施設で様々な分野のアーティストの作品を無料で鑑賞できます。このハンドブックを携行して、美作三湯芸術温度2025をより一層お楽しみください。

1 どんな作品があるか知ろう！

美作三湯芸術温度2025では、温泉街の27か所に31人の作家が作品を展示しています。このハンドブックで事前に見たい作品や回遊ルートなどをチェックしてみてください。

- ▶ 湯原温泉は、5ページ～
- ▶ 奥津温泉は、15ページ～
- ▶ 湯郷温泉は、21ページ～

2 宿泊施設で提示しよう！

作品が展示されている宿泊施設に入る際、このハンドブックを宿泊施設の方に提示してください。美作三湯の誇るおもてなしの心を感じていただけます。

3 周辺のミュージアムやイベントも楽しもう！

期間中、美作三湯周辺のミュージアムでは、さまざまな展覧会が開催されています。昨年度開催された森の芸術祭に関するイベントなど、周辺の施設やイベントも紹介していますので、この機会に立ち寄ってみてください！

▶ 周辺ミュージアム情報は、31ページ～

4 ウェブアンケートに答えて景品をもらおう！

ハンドブック最後のページのQRコードを読み込んで、美作三湯芸術温度2025のウェブアンケートに是非ご協力ください。

ご回答いただいた方の中から抽選で、岡山県の特産品など、素敵な景品をプレゼントします！

▶ 詳しくは、34ページへ

その他、おすすめ情報満載です！

岡山県北にある美作三湯（みまさかさんとう）は、湯原（ゆばら）温泉・奥津（おくつ）温泉・湯郷（ゆのこう）温泉の3つの名湯からなる西日本有数の温泉地です。

湯原温泉

ダムのすぐ下に24時間無料で開放されている混浴の「砂湯」で有名な温泉。日本でも珍しい川底から自噴する生まれたてのつるりとした湯を堪能できる。

所在地 ▶ 真庭市湯原温泉

交通手段 ▶ JR中国勝山駅から真庭市コミュニティバスにわくん♡（蒜山・久世ルート）で約35分、「湯原温泉」下車
米子自動車道「湯原IC」から車で約10分

問合せ ▶ 0867-62-2526
（湯原観光情報センター）



奥津温泉

清流せせらぐ奥津溪近くの温泉。泉質は、美肌効果が高いとされるアルカリ性単純温泉。とろりとした感触の美人の湯で素肌に元氣と潤いをチャージ！

所在地 ▶ 苫田郡鏡野町奥津

交通手段 ▶ JR津山駅から中鉄ほくぶバスで約60分、「奥津温泉」下車
中国自動車道「院庄IC」から車で約25分

問合せ ▶ 0868-52-9100（鏡野観光局）



湯郷温泉

約1200年余の歴史を誇る温泉。「美人の湯」といわれ、世界的にも珍しいといわれるラジウム気泡を含んだ泉質で、しっとりポカポカが続く。

所在地 ▶ 美作市湯郷

交通手段 ▶ JR岡山駅から宇野バス湯郷温泉・林野駅方面行で約100分、「湯郷温泉下」下車
中国自動車道「美作IC」から車で約10分

問合せ ▶ 0868-72-2636
（湯郷温泉旅館協同組合）



湯 原

YUBARA

01

はっけい

八景

ARTIST

山部泰司 Yamabe Yasushi

02

きくのゆ

湯原国際観光ホテル 菊之湯

ARTIST

高本敦基 Takamoto Atsuki

三橋直人 Mitsuhashi Naoto

03

はな

湯快感 花やしき

ARTIST

児玉知己 Kodama Tomoki

04

あぶらや

元禄旅籠 油屋

ARTIST

松岡徹 Matsuoka Toru

05

プチホテルゆばらリゾート

ARTIST

ぐしけんしおり Gushiken Shiori

06

が む

我無らん

ARTIST

松岡徹 Matsuoka Toru



湯原ダム

自然
マス釣場
事務所

遊歩道

露天風呂
「砂湯」



寄りそい橋

01

P

02

03

04

湯本温泉館

05

手湯足湯



湯原観光情報センター
湯原温泉ミュージアム

06

07

08

09

10

11

旭川

ゆばら湯っ足り広場

大はんざきの山車

湯原温泉
入り口

▶作家紹介は、7ページへ

▶施設紹介は、11ページへ



07

湯の蔵 つるや

ARTIST

松岡徹 Matsuoka Toru

08

さつき荘

ARTIST

波賀野文子 Hagano Fumiko

09

ゆばらの宿 米屋

ARTIST

榎尾聡美 Kashio Satomi

原倫太郎＋原游

Rintaro Hara + Yu Hara

10

松の家 花泉

ARTIST

田淵智也 Tabuchi Tomoya

11

湯原ふれあいセンター

ARTIST

胡桃澤千晶 Kurumizawa Chiaki

藤原裕策 Fujiwara Yusaku

12

下湯原温泉 ひまわり館

ARTIST

徳持耕一郎 Tokumochi Koichiro

波賀野文子 Hagano Fumiko

※作品によっては、宿泊されるお客様のみ観覧可能なもの、
観覧時間が限られているもの等があります。

湯原温泉
YUBARA

アーティスト紹介

湯原温泉では、砂湯という大きな露天風呂を中心に、豊富なお湯と四季折々の自然を堪能できます。古い歴史のある湯原温泉地区を、絵画、彫刻、写真、テキスタイル、インスタレーションなどが彩ります。

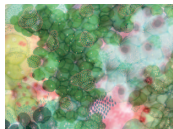
写真は例です。今回の作品と異なる場合があります。

樗尾 聡美 Kashio Satomi

展示場所 | ゆばらの宿米屋



細胞の1つ1つを模様として捉え生命の内側を覗いてみると、そこには驚く程美しい装飾が潜んでいます。故に装飾は人に生命感を感じさせる側面があるのではないのでしょうか。私にとって布に色を置き、細かな装飾を描くのは、そこかしこにひそむ生命の中の小さな営みを見つけていくような幸福感のある行為です。滲みや細かな装飾を用いて普段は目にするのできない世界を描き出したいと考えています。



柔らかく湧く / 2024 年

ぐしけん しおり Gushiken Shiori

展示場所 | プチホテルゆばらリゾート



1998年沖縄県生まれ。東北芸術工科大学大学院修了。理想を追う女の子の姿をオリジナルキャラクターで描く。一見可愛いがどこか毒のあるキャラクターが、コンプレックスを抱えつつ“可愛い”を探求する少女たちの物語を紡いでいる。



君しか見えない / 2023 年

胡桃澤 千晶 Kurumizawa Chiaki

展示場所 | 湯原ふれあいセンター



水をフィルムで包み、空間に散りばめた作品や、その他さまざまな素材を使ったインスタレーション作品を制作しています。また独自のフィルターを通して写した写真や、映像なども制作。儚さや、ゆらぎ、歪みなどをテーマに、国内外で活動をしています。



Tihany / 2001 年

児玉 知己 Kodama Tomoki

展示場所 | 湯快感 花やしき



私の住んでいる海沿いの港町。
湯原まではここから約 120km。
2つの場所の水は途切れることなくつながって
いる。そう思うとそんなに遠くない気もして
くる。
また、新しい作品を提げて行こうと思う。
河を遡上する魚のように。



param no.4/2025 年

高本 敦基 Takamoto Atsuki

展示場所 | 湯原国際観光ホテル 菊之湯



普段目にする物質や存在から役割を解放し、
それらを組み合わせながら現代社会を再考す
る制作を研究しています。



幾千万の洗濯バサミから
見える世界/2025 年

田淵 智也 Tabuchi Tomoya

展示場所 | 松の家花泉



ハンザキをスケッチするため『はんざきセン
ター』へ足を運ぶ。先行きの見えない不安な
世相のためか水底に潜むハンザキを見て『臥
竜』という言葉が浮かんできた。どこかにま
だ世に知られていない傑物がいるのかと想像
すると楽しくなってくる。その勢いで描いた
作品群。



ハンザキ/2025 年

徳持 耕一郎 Tokumochi Koichiro

展示場所 | 下湯原温泉ひまわり館



版画を専門に学び、ヨーロッパを2度放浪。'89
年にNYビレッジでジャズに出会いジャズシー
ンをスケッチし始める。内外のジャズメンと
交流し、'93年から鉄筋彫刻を作り始める。
浮世絵から学んだ「線」でジャズの躍動感を
表現し、「線だけでどこまで立体感を表せるか」
に挑戦している。



テナマンS1/2021 年

波賀野 文子 Hagano Fumiko

展示場所 | さつき荘、下湯原温泉ひまわり館



オオサンショウウオの生命力、悠然とした佇まいとその美しさを絵で表現できるよう、日本画で用いられる岩絵の具独特の粒子のきらめき、繊細な色合いを活かした作品づくりを心がけて制作を続けています。



春待つ日々 / 2025 年

原倫太郎 + 原游 Rintaro Hara + Yu Hara

展示場所 | ゆばらの宿米屋



インスタレーション作家の原倫太郎と画家の原游によるアーティスト・ユニット。個々の活動に加えてユニットとしての活動も多く、子どもから大人まで遊べるプレイグラウンドをテーマにした体験型作品を制作。近年は「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」、「瀬戸内国際芸術祭」においてキュレーションも担当。



阿弥陀渡り / 2024 年
photo : Nakamura Osamu

藤原 裕策 Fujiwara Yusaku

展示場所 | 湯原ふれあいセンター



板に彩色（プラス）して彫り（マイナス）を施す独自の技法により、相反するイメージが錯綜する「板画」。草木や土、石などの自然素材を用いた平面作品やインスタレーション。その他さまざまなかたちで作品を制作し、国内外で発表しています。



Sanctuary / 2020 年

松岡 徹 Matsuoka Toru

展示場所 | 我無らん、元禄旅籠 油屋、湯の蔵つるや



その土地にまつわる物語や伝説をモチーフに、彫刻、絵画、ワークショップなど、特定の手法にとらわれない幅広い表現技法を駆使し、国内外で制作活動を行う美術家。2011 年に奈良 MOCA で県内初の個展を開催して以来、岡山県での活動が続いています。また、『月へ行きたい』（福音館書店）など絵本も手がける。



湯原半裂天立像 / 2022 年



奈良県にある吉野熊野国立公園 大台ヶ原山をテーマに撮影する風景写真家。国立公園の風景写真作品を作風としており、テーマとする大台ヶ原山麓の上北山村に移住をして、写真家として活動している。昼夜・天候・季節を問わず、大台ヶ原山に通い詰めながら、誰も見たことがない山の風景を写真作品として発表している。幼少期より祖父母の出身地でもある岡山県北部の自然風景が好きで、風景写真家を志すきっかけの一つとなった。



神の住む山 大台ヶ原 / 2023年



美術には自由への扉があります。アトリエを自然の多い場所に移してから、さまざまな光や時間の美しさに出会う機会が増えました。幼少期の記憶の風景と現在の自然からのさまざまな発見によって新たな表現の絵画が生まれる瞬間を意識しました。



開く山水 1 / 2025年

湯原観光情報センター

湯原温泉の観光案内はこちらで！

湯原温泉ミュージアム内にあり、観光案内・宿泊案内をしています。温泉ミュージアムでは、無料休憩所もあり、気軽に立ち寄れます。スリッパ卓球（有料）も楽しめます。

所在地 ▶ 真庭市湯原温泉 124

電話 ▶ 0867-62-2526

定休日 ▶ 火曜日

営業時間 ▶ 10:00 ~ 18:00



湯原温泉 展示宿泊施設等

ゆばらの宿 米屋

真庭市湯原温泉 345-18 ☎ 0867-62-3775



白壁と格子窓、なまこ壁、現代によみがえる宿場町の佇まい。岡山が誇る「千屋牛」を用いた会席料理に定評あり。



<http://www.komeya.co.jp/>

プチホテルゆばらリゾート

真庭市湯原温泉 68 ☎ 0867-62-2600



1860年製のアンティークオルゴール、東家藝大作品や温泉むすめ等サブカルも。こだわりの地産地消の手料理や温泉もあり、アットホームなサービス。



<https://www.net626.co.jp>

松の家 花泉

真庭市湯原温泉 320-1 ☎ 0867-62-2121



7つのお風呂からなる「花くらべ」、貸切露天風呂「露ろまん」、すべてをあわせて15の湯めぐりが楽しめる風呂自慢の宿です。



<http://www.yubara-matsunoya.com/>

湯の蔵 つるや

真庭市湯原温泉 144 ☎ 0867-62-2016



元酒蔵の趣ある和室造りのお宿。美味しいお酒とそれに合うお料理でおもてなしいたします。



<http://www.yunokura.co.jp/>

湯快感 花やしき

真庭市湯原温泉 21 ☎ 0867-62-3341



アットホームで気取らぬ心からのおもてなしのお宿。月ごとに変わる手の込んだお料理は味よし、目で楽しんでよしと好評です。



<http://www.y-hanayashiki.co.jp/>

湯原国際観光ホテル 菊之湯

真庭市湯原温泉 16 ☎ 0867-62-2111



旭川と山の緑を全室より望める、全国露天風呂番付西の横綱「砂湯」のお膝元のお宿。ペット同伴可能な客室もあります。


<http://www.yubara-kikunoyu.com/>

元禄旅籠 油屋

真庭市湯原温泉 27 ☎ 0867-62-2006



元禄元年以来300年に渡るその歴史あるお宿。「千と千尋の神隠し」のモデルのひとつと言われています。


<https://aburaya.org/>

我無らん

真庭市湯原温泉 114 ☎ 0867-62-2292



バリスタイルな落ち着いた空間のお部屋で誰にも邪魔されずゆっくりと籠れるお宿。全室天然のかけ流しの温泉を贅沢に堪能できます。


<http://www.y-gamelan.com/>

八景

真庭市豊栄 1572 ☎ 0867-62-2211



「ただいま！」と里帰りするように素のまんま、くつろげるお宿。やさしい天地のお恵みがたっぷりの野菜料理が自慢です。


<http://www.hakkei-yubara.jp/>

さつき荘

真庭市湯原温泉 155 ☎ 0867-62-2026



一日3組10名限りの小宿です。お風呂は、源泉掛け流し単純アルカリ泉で、肌はすべすべ、湯上り後のしっとり感たるや、何度も浸かりたくなる良泉です。貸切の時間制でご利用いただいておりますので、気兼ねなくのんびりとお楽しみください。


<https://satsukisou.com/onsen.html>

下湯原温泉ひまわり館

真庭市下湯原 24-1 ☎ 0867-62-7080



食事・入浴・売店がある湯の駅です。源泉かけ流しの露天風呂があり、なかでもペット専用の露天風呂もあり、多くのペット連れのお客様が訪れています。


<https://www.yubarahimawarikan.com/>

湯原ふれあいセンター

真庭市豊栄 1515 ☎ 0867-62-2011



湯原振興局、湯原図書館、市民センター、湯原公民館の機能を有する複合施設で、住民や湯原を訪れる人が気軽に利用できる交流スペースもあります。


<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/60/2660.html>

PICKUP!

湯原温泉街の中でアート体験 アートのスペース天ノ屋（あまのや）

湯原温泉街の民芸品店「はんざきや」店内にあるアートギャラリーです。アート作品の展示やグッズ販売、アート体験ワークショップを行っています。6月26日の「露天風呂の日」にちなんだ企画展開催や、温泉街に顔出しパネルを設置するなど、地域活性化の企画も開催しています。

所在地 ▶ 真庭市湯原温泉 32
営業日 ▶ 毎週土曜日、日曜日、祝日
(ワークショップは土曜日のみ)



PICKUP!

湯原温泉には“はんざき”がいっぱい!

湯原温泉は、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオでも有名です。地域では「はんざき」と呼ばれ親しまれています。温泉街には、はんざきにちなんだスポットがたくさん。アート巡りと一緒に“はんざき探し”もおおすすめです。



岡山県内で開催される3年に一度のアートイベント

岡山市中心部で出会う現代アート
岡山芸術交流2025

岡山市中心部の岡山城・岡山後楽園周辺エリアで、街歩きを楽しみながら最先端の現代アートなどに会える3年に1度の国際現代美術展「岡山芸術交流2025」を開催します。

アーティスト・ディレクターはアーティストのフィリップ・バレーノ!!

タイトルは村上春樹の小説『1Q84』に登場する謎めいたキャラクター「青豆」に触発された「青豆の公園」です。

日時 ▶ 9/26(金)～11/24(月・振休)

場所 ▶ 岡山城・岡山後楽園周辺
(徒歩圏内の屋内外複数会場)

鑑賞料 ▶ 今回に限り無料



©Okayama Art Summit 2025
Right: Photo by Gautier Deblonde

瀬戸内国際芸術祭
2025(宇野港エリア)

瀬戸内海を舞台に3年に一度開催される現代アートの祭典。

玉野市の宇野港エリアでは、新作を含む全12作品が市内に点在しており、深山公園などの観光スポットを芸術祭シャトルバス(無料)で周遊しながら作品鑑賞できます。

玉野の豊かな自然を体感しながら、日常の中に溶け込むアートとの出会いを楽しめるエリアです。

夏会期 ▶ 8月1日(金)～8月31日(日)

秋会期 ▶ 10月3日(金)～11月9日(日)

作品場所 ▶ 宇野港周辺、日之出公園、PowerBase、深山公園

料金 ▶ 一部有料作品あり

問合せ ▶ 瀬戸内国際芸術祭総合案内所

電話 ▶ 087-813-2244



un14-3 金氏徹平
[Hard Boiled Daydream(Miyama Park)]



un04 淀川テクニク「宇野のチヌ」

02

03

04

05

石庭遊園地

道の駅奥津温泉

星の里キャンプ
ビレッジ

洗濯場
河原の露天風呂

足湯

花美人の里
専用駐車場

P

01

75

▶ 作家紹介は、16ページへ
▶ 施設紹介は、19ページへ

03

かじかえん

池田屋 河鹿園

ARTIST

小野耕石 Ono Kouseki
北川太郎 Kitagawa Taro
染谷悠子 Someya Yuko
長谷川さち Hasegawa Sachi

01

はなびじん さと

花美人の里

ARTIST

藤沢まゆ Fujisawa mayu

02

おくつ

米屋倶楽部 奥津

ARTIST

中島麦 Nakajima Mugi

04

おくつそう

名泉鍵湯 奥津荘

ARTIST

森山知己 Moriyama Tomoki

05

みち えき おくつおんせん

道の駅奥津温泉

ARTIST

藤田雅也 Fujita Masaya
松村晃泰 Matsumura Teruyasu

※作品によっては、宿泊されるお客様のみ観覧可能なもの、
観覧時間が限られているもの等があります。

奥津温泉
OKUTSU

アーティスト紹介

静かな山間の町に風情のある老舗旅館や素朴な民宿などが並ぶ奥津の温泉街を、彫刻やインスタレーションなどの現代美術で演出します。

写真は例です。今回の作品と異なる場合があります。

小野 耕石 Ono Kouseki

展示場所 | 池田屋 河鹿園



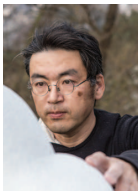
僕は岡山県立総社南高校を卒業してすぐに東京に出ました。大学を修了し、関東のギャラリーや美術館を中心に作品を発表してきましたが、今年から岡山県矢掛町にアトリエを移し生活と制作を開始しています。95歳の祖母と同居し、山と地面との付き合い方を少しずつ意識し始めています。文化は土地が生み出すもの、ここから何か新しい表現を模索していきます。



Inducer.9/2019年

北川 太郎 Kitagawa Taro

展示場所 | 池田屋 河鹿園



存在しないものの魅力を引き出す事に着目したシリーズ「静けさ」、時間の可視化を試みたシリーズ「時空ピラミッド」、触覚性に着目したシリーズ「手の考える世界」等、現代への警鐘となる展覧会へ多く参加し、石の内包する魅力をさまざまなアプローチで展開している。



手の考える世界 / 2024年

染谷 悠子 Someya Yuko

展示場所 | 池田屋 河鹿園



パネルにキャンバスや和紙を張り、やわらかな風合いを生かした繊細な筆致と色彩により、身近な風景と生命の根本をからめた独自の世界観を表現している。



知でなく意ではない。/ 2023年
photo : Kenji Takahashi



抽象絵画を制作する事を中心に、そこから拡張する出来事を取り込みながら活動中。

その活動を通して、私自身が何ものからも自由で、何ものをもつなぐメディアムでありたいと考えている。絵画の基本要素である「動き・興行き・光」を色彩を通して探求、近年は物質が重力により流れる時間を加えた作品を制作。

3回目の芸術温度への参加、この度も展示場所の環境を生かしたペインティングを現場で創ります。



DIVING to COLOR
OCEAN/2025 年 (個展の様子)



存在するけれど、触れることはできない、直接見ることもできないものを、石を使って作品にしている。作品をつくることは、自分が存在する世界をどう見ているのか、意識下の認識できない物事をどう知覚するか、ということだと思っている。



三つの筒 / 2024 年



染色の筒描きや写し友禅などの日本の伝統工芸を用いて、布に絵を染めた作品を制作している。

植物や動物を入り交えた絵に合わせ、それぞれの物語を作り作品を発表している。

内側から溢れ出る絵と言葉によって、それぞれのひとの共感する思いや感動が水面のようにじんわりと広がっていくように願いながら作っています。



生きるということ / 2024 年



石との対話、時との対話、人との対話を大切にしながら、生命や誕生をテーマとした彫刻制作を展開しています。石の自然な割れ肌と研磨した人工的な表現を対比させることによって、人が触りたくなるかたちを追究し続けています。



大地 - '18/2018 年



石彫・雪彫を中心に彫刻家として活動。学生時代、岡山市犬島に延べ2か月滞在し、共同制作でモニュメント「スケッチ」を制作・設置。以来、岡山との縁が絶えない。2015年、京都市から岡山市に移住。2016年、矢掛町で「ザ・みぎりズム 2016」を企画・開催。2019年、矢掛町に仲間とチョコレート専門店「石挽力カオ issai」開業。芸術に固執しない「ものづくり」を通して様々な「ことづくり」に挑戦している。



Phantom - 呼吸 あ、うん-/2024年



国の名前のついた絵画とはいったいどんな絵なのだろう？ 古からの材料や技法、画題などを用いて、絵を描くことを通して探しています。描き続けるうち、「水」の使い方、「水との関係」を、この国の名前のついた絵画は、古来とても大切にしてきたのだと感じるようになりました。日本画とは、水に恵まれた国、自然に恵まれた平和な国を表す絵画ではないかという思いを強くしている今日このごろです。



水の記憶 / 2007年ほか

PICKUP! かがみの近代美術館

才能はあった 情熱もあった ただ時間だけがなかった…。

若くして亡くなった天折・未完の画家の作品を展示する全国でも数少ない美術館。江戸時代の茅葺の古民家を再生した心地よい空間で、サービスの珈琲・菓子いただけます。囲炉裏や2階の景色の良いカウンター席も人気の隠れ家的美術館。

所在地 ▶ 苫田郡鏡野町奥津川西 692 電話 ▶ 0868-52-0722

営業時間 ▶ 9:00 ~ 18:00 (入館受付 17:00 まで)

休館日 ▶ 月曜日 (祝日の場合は翌日)



PICKUP! 7th OKUTSU芸術祭

7回目を迎える鏡野町が舞台のアートイベント。今年は新たに「楽器」「あかり」をテーマとしたアートプロジェクトのほか、「SHOWA DISCO」と銘付った来場者参加型のダンスイベントも開く。鏡野町を縦断する179号沿線を「高速道路では味わえない各駅停車でアートが楽しめる魅力ある沿線・エリア」に創り上げる。

開催期間 ▶ 9月20日(土) ~ 11月30日(日)

開催場所 ▶ かがみの近代美術館、鏡野観光局、花美人の里、宝樹寺、山田養蜂場りとるびーはうす 他多数

開催時間・休館日 ▶ 会場により異なります。

電話 ▶ 0868-52-0722 (かがみの近代美術館)



池田屋 河鹿園

苫田郡鏡野町奥津 55 ☎ 0868-52-0221



源泉掛け流しの温泉から見渡す吉井川の景色は絶景。吉井川のせせらぎといで湯が身も心も癒してくれます。道向かいの河鹿園コーヒーもどうぞ。



<https://kajika-en.com/>

米屋倶楽部 奥津

苫田郡鏡野町奥津 196-5 ☎ 0868-52-0016



奥津温泉街の高台から見渡す奥津の景観と四季折々の食、自家源泉のいで湯が皆様をお待ちしています。



<http://komeya-okutsu.com/>

名泉鍵湯 奥津荘

苫田郡鏡野町奥津 48 ☎ 0868-52-0021



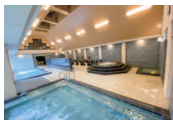
極めて優秀な自家源泉を有する奥津荘。温泉本来の効能を全身で感じることで、その圧倒的な癒しをご体感ください。



<http://okutsusuo.com/>

花美人の里

苫田郡鏡野町奥津川西 261 ☎ 0868-52-0788



奥津温泉の中心に位置する、木をふんだんに使用したリラックス空間。大浴場にはジェットバス、露天風呂、サウナなどがあり、刺激が少ないアルカリ性単純温泉は、老若男女問わず親しまれています。



<http://hanabijin.co.jp/>

道の駅奥津温泉

苫田郡鏡野町奥津 463 ☎ 0868-52-7178



見晴らしの良い高台にある道の駅です。奥津地方特産姫とうがらしや地元で採れた野菜や花などの他、お土産も豊富に取り揃えています。お食事処「てっちりこ」も人気です。



<http://www.karabijin.jp>

TOPICS

みずの郷奥津湖総合案内所

令和7年5月リニューアルオープンのみずの郷奥津湖総合案内所。

カヤック、サップ等のアクティビティ申込や更衣室、シャワー室の完備、観光案内など、併設のお食事処では、地元の食材を使ったウェルネスな食事やお土産物の販売などが楽しめます。敷地内には、アウトドア総合メーカー「モンベル」のストアも新たにオープン。



所在地 ▶ 岡山県苫田郡鏡野町河内 60-8

電話 ▶ 0868-52-9100

営業時間 ▶ ビジターセンター 9:00～19:00

COHAN 9:00～18:00

(ランチ 11:00～15:00 カフェ 9:00～17:00)

パドリングフィールド 9:30～17:00

定休日 ▶ 毎週水曜日（祝日の場合翌日の木曜日）、年末年始



TOPICS

鳥取県立美術館

湯原、奥津から約40分、鳥取県倉吉市へ！

今年3月、新しく鳥取県立美術館が開館。入館は無料で、3階まで吹抜けの「ひろま」や史跡公園を臨む展望テラスなどフリーエリアでお過ごしいただけます。正面エントランスには青木野枝《しきだい》、3階展望テラスには中ハシクシゲ《抱きつき犬》《お出掛け犬》の屋外彫刻作品もお楽しみいただけます。



所在地 ▶ 鳥取県倉吉市駄経寺町 2-3-12

開館時間 ▶ 9:00～17:00（入館は閉館30分前まで）

電話 ▶ 0858-24-5442

休館日 ▶ 月曜日、年末年始ほか

企画展

The 花鳥画—日本美術といきものたち—

会期 ▶ 2025年10月11日〔土〕～11月24日〔月・祝〕

観覧料 ▶ 一般1,200円ほか



湯 郷

YUNOGO

01

かん
ゆのこう館 Will be

ARTIST

片山高志 Katayama Takashi

02

ちくてい
やさしさの宿 竹亭

ARTIST

田代卓 Tashiro Taku

03

ポピースプリングス リゾート & スパ

ARTIST

徳持耕一郎 Tokumochi Koichiro

04

和モダンなお宿 かつらぎ

ARTIST

柴川敏之 Shibakawa Toshiyuki

05

えん
花の宿 にしき園

ARTIST

太田三郎 Ota Saburo

06

ゆのこう
湯郷グランドホテル

ARTIST

高橋直宏 Takahashi Naohiro

08

09

10

美作市総合運動公園

美作テニスコート ●

美作野球場 ●

361

大谷川
河川公園

Glass
Studio
Toos

361

P

甲

● 重岩

● アート作品
うめぼし

鶯湯公園

01

鶯湯橋

♨

51

※ 作品によっては、宿泊されるお客様のみ観賞可能なもの、
観賞時間が限られているもの等があります。

07

き ふ さと

季譜の里

ARTIST

森本啓太 Morimoto Keita

09

びしゅんかく

ゆのこう美春閣

ARTIST

花房紗也香 Hanafusa Sayaka

08

ゆのこう

リゾートイン湯郷

ARTIST

寺本明志 Teramoto Akashi

10

てい

ふくます亭

ARTIST

胡桃澤千晶 Kurumizawa Chiaki

藤原裕策 Fujiwara Yusaku

▶ 作家紹介は、23ページへ

▶ 施設紹介は、27ページへ



湯郷温泉
YUNOGO

アーティスト紹介

1200年前に傷ついた白鷺が体を休めているのを円仁法師が見つけて出湯を発見したという湯郷温泉。和の情緒豊かな宿からモダンな宿までが立ち並ぶ温泉街をはじめとした湯郷地域で、絵画や様々な彫刻、インスタレーションなどをお楽しみください。

写真は例です。今回の作品と異なる場合があります。

太田 三郎 Ota Saburo

展示場所 | 花の宿にしき園



既製の郵便切手や自ら制作したオリジナル切手を用いて「時間」と「場所」を記録する作品、生活の中に潜む見えない関係性を可視化する作品などをつくり続けている。一般参加型のワークショップも数多く手がけ、東京国立近代美術館、東京都現代美術館、ドレスデン国立美術館（ドイツ）など内外の美術館に作品が収蔵されている。



円周率 / 2025 年

片山 高志 Katayama Takashi

展示場所 | ゆのこう館 Will be



曖昧であること 明確であること 偶然に放つこと 意思を流すこと 物質であること 非物質であること 色であること 色ではないこと 機械にならないこと 自動であること 美しくあること 芸術を忘れること 再現しないこと あるがままであること 自然であること 人間であること 言葉になる前のこと 身体があること 脳があること 心はどこにあるのか わからなくとも楽しむこと 目の前と戯れる 子供のように



あたらしいこども #4/2025 年

胡桃澤 千晶 Kurumizawa Chiaki

展示場所 | ふくます亭



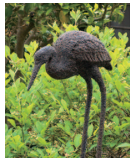
水をフィルムで包み、空間に散りばめた作品や、その他さまざまな素材を使ったインスタレーション作品を制作しています。また独自のフィルターを通して写した写真や、映像なども制作。儚さや、ゆらぎ、歪みなどをテーマに、国内外で活動をしています。



Tihany/2001 年



「2000 年後 (41 世紀) から見た現代社会」をテーマに、日常の見慣れた物を出土品 (化石) のように変換することで、未来の視点から現在を俯瞰し、現代社会に潜在する諸問題を露わにしている。湯郷温泉は、約 1200 年前に円仁法師がこの地で、白鷺が足の傷を癒しているのを見て発見したと伝えられ、別名「鷺の湯」として親しまれてきた。今回は、このエピソードを元に、「[41 世紀の湯郷温泉ミュージアム]」をテーマに展示を行う。



2000 年後の温泉遺跡：白鷺の出土品 (化石) / 2025 年



「身体の変異性」をテーマに、組立・解体可能な人体彫刻を制作しています。頭部や手足を切断し、蝶番やビスで仮固定した作品や、展示ごとにポーズや部位を変えられる作品もあります。物流や医療技術が発達した資本主義社会において「切断・加工・再構成」される現代の身体を、環境に応じて変容する彫刻として捉え、「身体とは何か」を問い続けています。



冷蔵身区 / 2025 年
photo : KATO Ken



イラストレーター、グラフィックデザイナーとしての活動のほか、絵本の作品に『Baby Books』シリーズ (偕成社)、『なに なに なあに?』 (フレール館) 等がある。桑沢デザイン研究所非常勤講師、九州産業大学芸術学部教授等歴任。現在、造形作家としての制作活動を展開している。



Stool 60 on Print/2016 年



近年は Patio (中庭) を外と内の境界がない中立地ととらえ、様々なもの・動物・人を等価に描く。統一性のない要素が中立な場に配置されることで差異を留保しつつ共存し、描かれたもの同士の関係性が絵画を紡いでいく。インスタレーションで培った重さやバランスの感覚を活かし、目の前の物理的な感覚を絵画に刻む。社会的な役割から離れた「存在」の意義を問いながら、風景画・人物画・静物画を横断する新たな表現を模索している。



Patio・昼下りの机上-/2024 年



版画を専門に学び、ヨーロッパを2度放浪。'89年にNYビレッジでジャズに出会いジャズシーンをスケッチし始める。内外のジャズメンと交流し、'93年から鉄筋彫刻を作り始める。浮世絵から学んだ「線」でジャズの躍動感を表現し、「線だけでどこまで立体感を表せるか」に挑戦している。



テナーマンS1/2021年

花房 紗也香 Hanafusa Sayaka

展示場所 | ゆのこう美春閣



窓や鏡、画中画を手がかりとし、内と外が入り混じるような絵画作品を制作する。2020年に岡山県勝田郡奈義町に移住し、絵画教室 Atelier Blanc (アトリエ・ブロン) の主宰。WSの企画などを行い、自身の制作だけでなく、地域にアートを身近に感じてもらう活動を行っている。



イヴとヴィーナス / 2024年

藤原 裕策 Fujiwara Yusaku

展示場所 | ふくます亭



板に彩色（プラス）して彫り（マイナス）を施す独自の技法により、相反するイメージが錯綜する「板画」。草木や土、石などの自然素材を用いた平面作品やインスタレーション。その他さまざまなかたちで作品を制作し、国内外で発表しています。



Sanctuary/2020年

森本 啓太 Morimoto Keita

展示場所 | 季譜の里



1990年大阪生まれ。2006年にカナダへ移住し、2012年オンタリオ州立芸術大学（現・OCAD大学）を卒業。パロック絵画や20世紀初頭のアメリカン・リアリズム、そして古典的な風俗画の技法やテーマに強い関心をもち学んできた森本は、これらの伝統を参照し、ありきたりな現代の都市生活のワンシーンを特別な物語へと変貌させる。象徴的に「光」を描くことによって、その神聖で普遍的な性質を消費文化の厳しい現実と融合させ、歴史のもつ深みと現代的な複雑さが共鳴する作品を生み出している。



So close, yet so far/2024年
photo : Osamu Sakamoto

湯郷温泉観光案内所(湯郷温泉観光協会)

湯郷の観光地や温泉・宿泊情報のご案内や、地元のお土産物の販売もしています。今年3月に改装リニューアルオープンし、休憩スペースも広がりまりましたので、是非お立ち寄りください。

所在地 ▶ 美作市湯郷 323-2

電話 ▶ 0868-72-0374

営業時間 ▶ 9:00～18:00 (年中無休)



TOPICS

湯郷では鉄筋アート巡りも！

美作三湯芸術温度に参加している徳持耕一郎さんの鉄筋アート作品は、今回の作品以外にも湯郷温泉街のあちこちに展示されています。ジャズの名曲にちなんだタイトルが付けられてるので、実際の曲を聴きながらの鑑賞もおすすめです。



KODA Gallery × Pan

湯郷近くに位置するギャラリーを併設したアートとサワドゥーパンのお店です。美作市のアートや文化の発信拠点として、積極的なワークショップの開催や、地元中学校との共同企画など、ギャラリーにとまらない活動を行っています。 展示企画 PaletteScene

展示スケジュール

● NPO 法人灯心会 - 編んだバンでん展 - 2025年8月6日(水)～8月30日(土)

● 河内大樹 X 美作中学校美術部 - リソグラフィ展 - 2025年11月5日(水)～11月29日(土)

所在地 ▶ 〒707-0025 岡山県美作市栄町 11-3

電話 ▶ 0868-72-0443

営業時間 ▶ 10:00～17:00

定休日 ▶ 日・月・火曜日



湯郷温泉 展示宿泊施設等

季譜の里

美作市湯郷 180 ☎ 0868-72-1523



石畳のエントランスを抜けると視界に入るのは野山の木々が彩る独創的な活け花。微かに漂うお香は白檀で、ワンランク高い香りに魅了されます。



<https://www.kifunosato.com/>

花の宿 にしき園

美作市湯郷 840-1 ☎ 0868-72-0640



中庭の見える開放感のあるロビーは、アロマの香りが漂い癒される空間。季節の生花が随所に生けられ、女将の押し花絵が館内を彩ります。



<http://www.nishikien.jp/>

ふくます亭

美作市中山 1203-6 ☎ 0868-72-6111



湯郷の山々に隣接している為、四季折々の自然の美しさを満喫できます。
自家野菜や地元食材を取り入れた料理を堪能しながら、「美人の湯」に浸かり、心も体もリラックスしたひとときをお過ごし下さい。



<http://www.fukumasutei.co.jp/>

ポピースプリングス リゾート&スパ

美作市湯郷 538-1 ☎ 0868-72-7575



カリフォルニアミッションスタイル建築のリゾートホテル。南カリフォルニア風の造りと欧米の調度品が非日常感を演出します。温泉・アロマテラピーそして野菜にこだわっています。



<https://www.poppy.co.jp/>

やさしさの宿 竹亭

美作市湯郷 622-1 ☎ 0868-72-0090



“やさしさの宿竹亭”は、湯郷温泉の高台に位置し、風の館7階の展望浴場からは湯郷の四季を彩る山々が見渡せます。



<http://www.chikutei.co.jp/>

ゆのこう館 Will be

美作市湯郷 906-1 ☎ 0868-72-1126



吉野川のほとりに佇む当旅館は、静けさあふれる癒やしの宿。美肌効果で知られる、やわらかな湯が日々の疲れを優しく洗い流してくれます。食事はしゃぶしゃぶ御膳が楽しめます。


<https://www.yunogokan.co.jp/>

湯郷グランドホテル

美作市湯郷 581-2 ☎ 0868-72-0395



ロビーには生花が飾られており、美味しくボリュームあるお料理と何度でも入りたくなる温泉など、お客様の心を和ませてくれる空間があります。


<https://yunogo.co.jp/>

ゆのこう美春閣

美作市中山 1144 ☎ 0868-72-8111



湯郷温泉の高台に位置する県内最大級の温泉宿泊施設。施設もリニューアルを続けており、県内外の多くのお客様にお越しいただき喜びいただいております。


<https://www.bisyunkaku.jp/>

リゾートイン湯郷

美作市中山 886-1 ☎ 0868-72-4019



緑豊かな奥湯郷の高台に佇む当館は、リノベーションしたコテージ、ツイン、トリプルとあり、カップル、家族、三世代で楽しんでいただけます。ペットと泊まれるコテージもあります。男湯には檜のサウナもあり、自然の中の温泉、サウナで日頃の疲れを癒すことができます。


<http://www.resortinnyunogo.jp/>

和モダンなお宿 かつらぎ

美作市湯郷 800 ☎ 0868-72-1555



地元食材を使った『豪華でなくても温かい』お料理や、貸切露天風呂「月の湯」、宿前のカフェや梅酒バー、エステやヨガ体験など楽しみ方いろいろ♪


<http://team-samurai.com/>

これまでの美作三湯芸術温度作品

美作三湯芸術温度は、2016年からこれまで3回開催されており、今でも宿泊施設等に多くの作品が残っています。ここでは、そのうちいくつかをご紹介します。

「浮」シリーズ

児玉 知己〔2022〕

展示場所 | 湯快感 花やしき【湯原】



「untitled」

児玉 知己〔2019〕

展示場所 | 湯快感 花やしき【湯原】



「ヤングはんざきさん」

松岡 徹〔2022〕

展示場所 | 湯の蔵 つるや【湯原】



「3泊目のはんざきさん」

松岡 徹〔2022〕

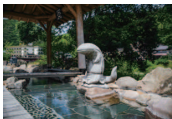
展示場所 | 元禄旅籠 油屋【湯原】



「はんざきさん湯冷め姿」

松岡 徹〔2019〕

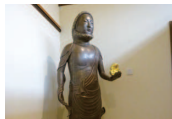
展示場所 | ゆばら湯 足り広場【湯原】



「湯原半裂天立像」

松岡 徹〔2022〕

展示場所 | 湯原観光情報センター【湯原】



はんざきヴァリー（湯上がり姿）

宮崎 郁子〔2022〕

展示場所 | 湯の蔵 つるや【湯原】



「Dancing Egon」ほか

宮崎 郁子〔2019〕

展示場所 | 我無らん【湯原】



「multi LD ver. 米屋倶楽部 red」ほか

中島 麦〔2022〕

展示場所 | 米屋倶楽部 奥津【奥津】



「うつわ」シリーズ

松村 晃泰〔2022〕

展示場所 | 米屋倶楽部 奥津【奥津】



「STRIPE」

草間 結雄〔2016〕

展示場所 | 米屋倶楽部 奥津【奥津】



「びじんにしてもらう彫刻かみのおやま」

大間 光記〔2022〕

展示場所 | 花美人の里【奥津】



「びじんにする彫刻」

大間 光記〔2019〕

展示場所 | 花美人の里【奥津】



「2000 年後の湯郷温泉ミュージアム」

柴川 敏之〔2022〕

展示場所 | 和モダンなお宿 かつらぎ【湯郷】



「連動」シリーズ

小林 照尚〔2022〕

展示場所 | 湯郷グランドホテル【湯郷】



「WM room-spring springs」

中島 麦〔2016〕

展示場所 | 湯郷グランドホテル【湯郷】



いざな
～森への誘い再び～
「森の芸術祭 晴れの国・岡山」
2027年 開催決定！

2024 年秋、県北部 12 市町村をエリアに初めて開催した国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」。豊かな自然や歴史・文化に溶け込んだ壮大なアート作品群が、延べ 52 万人もの方々を魅了しました。2027 年、第 2 回目の開催が決定！自然の恵みや文化、人々が集まる場所としての多様性と豊かさを象徴する「森」の魅力を、そしてここでしか味わえないアート作品の数々を、ぜひご堪能ください。

今も鑑賞できる森芸のレガシー

森の芸術祭 2024 の 5 つの作品が常設展示されており、
今でも鑑賞していただくことができます。



〔左上〕 ジェンチョン・リョウ
《山に響くこだま》2024
@奥津振興センター（鏡野町）
撮影：浅野 豪

〔左下〕 マイケル・リン
《スタンダードカラー》2024
@まなびの森 新見図書館（新見市）
撮影：浅野 豪

〔右上〕 妹島和世
《あしあと》2024
@勝山町並み保存地区ほか
（真庭市）
撮影：浅野 豪

〔右中〕 ジャコモ・ザガネリ
《津山ピンポン広場》2024
@城下スクエア（津山市）
撮影：顧 剣亨

〔右下〕 サンドラ・シント
《未来のための宇宙論》
@奈義町現代美術館・図書館
（奈義町）
※写真は完成イメージです。
※ 2025 年 9 月頃完成予定



公式ウェブ
QR コード

奈義町でも芸術温度関連企画やっています！

美作三湯芸術温度のキュレーター岸本和明氏が館長をされている奈義町現代美術館など、奈義町でも美作三湯芸術温度関連の企画を実施中です。

奈義町現代美術館 (Nagi MOCA)

芸術作品と建築とが半永久的に一体化した体感型美術館の先駆け。建築家・磯崎新設計・プロデュースのこの美術館は、太陽・月・大地と名付けられた3つの展示室から構成され、「死ぬまでに一度は見たい絶景 - 日本編 -」にも選ばれた必見の場所です。

所在地 ▶ 勝田郡奈義町豊沢 441

電話 ▶ 0868-36-5811

営業時間 ▶ 9:30 ~ 17:00 休館日 ▶ 月曜日(祝日の場合、翌日)



企画展「片山高志 何かの何かだと思ったら、何の何でもなかった」

7月5日(土) ~ 9月15日(月・祝)

岡山出身の画家・片山 高志による展覧会を開催。独学で絵画の制作を始めた片山による、誰も目を向けない無意味なモノや忘れ去られていく風景など、独特の世界観を持った絵画作品を展示。

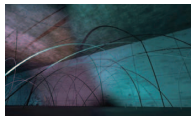
夜間開館「ミュージアム×ナイト 奈義 MOCA 2025 光と影の瞑想夜」

2025年7月12日(土)・8月9日(土)・9月13日(土)・10月11日(土)・

11月8日(土)・12月13日(土)

2026年1月10日(土)・2月14日(土)・3月14日(土)

7月から3月までの第2土曜日を夜間開館します。特別な夜を光で演出してくれるのは、去年の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」での「さんぶたろう祭り」でも光の演出を行ったアーティストコレクティブ「xorium (エクソリウム)」です。



「那岐山麓山の駅」でのアートイベント

『うすくらがり言葉をかわず』～みんなでつくる星月夜ドリームドーム～

秋の夕方から夜にかけて、みんなでドームをつくる参加型アートイベント。完成後はドームを囲んで星を眺めてオシャレしよう。

10月18日(土) 15:00 ~ 20:00

所在地 ▶ 勝田郡奈義町高円 591-1 那岐山麓山の駅



「美作三湯芸術温度」参加アーティストの作品展(予定)

「美作三湯芸術温度」参加アーティスト(有志)の小作品を展示予定。

芸術温度の作品とあわせてご覧ください。

10月18日(土) ~ 10月19日(日) 10:00 ~ 17:00

周辺文化施設の紹介

奈義町のほかにも、美作三湯の周辺には魅力的なミュージアム、ギャラリーがあります。個性的な企画展も開催中です。

真庭市蒜山ミュージアム

隈研吾氏設計による、人と自然の共存が体感できる観光文化発信拠点施設「GREENable HIRUZEN」の一角をなす真庭市蒜山ミュージアム。展覧会では現在活躍中のアーティストを中心に紹介、同時に隈研吾氏の建築模型なども展示しています。

所在地 ▶ 真庭市蒜山上福田 1205-220

GREENable HIRUZEN 内

営業時間 ▶ 9:00～17:00 (入館は16:45まで)

電話 ▶ 0867-42-1178

(真庭市役所スポーツ・文化振興課)

休館日 ▶ 水曜日(祝日の場合、翌日)

- 「山本修司展：描写する水面(すいめん)
／枯山水の水面(みなも)」

7月19日(土)～11月24日(月・振休)



©川澄・小林研二写真事務所

勝山文化往来館ひしお

醤油蔵を改修し、文化を醸造する“はぐくむ”という意味を込めて「ひしお」と名付けられました。木をふんだんに使い、古い瓦を再利用して白壁のモダンな外観です。

所在地 ▶ 真庭市勝山 162-3

営業時間 ▶ 10:00～16:30

電話 ▶ 0867-44-5880

休館日 ▶ 水曜日(祝日の場合、翌日)

- 石田和也展 9月13日(土)～10月13日(月・祝)

- 榎本勝彦展 11月15日(土)～12月14日(日)



PORT ART&DESIGN TSUYAMA

県指定重要文化財「旧妹尾銀行林田支店」の美しい建築を活用し、芸術文化の創造・発信拠点となるアートギャラリーとして整備されました。銘木が使われている木造本館や赤レンガ倉庫など大正時代の重厚な空間を体感しながら、展覧会を通じて多彩なアートに触れることができます。

所在地 ▶ 津山市川崎 823

営業時間 ▶ 10:00～18:00 (入館17:30まで)

電話 ▶ 0868-20-1682

休館日 ▶ 火曜日(祝日の場合、翌日)

- 水口智貴・西永拓郎 二人展 ～異素材の魅力～
9月13日(土)～10月5日(日)





素敵な景品が当たる！

ウェブアンケートにご協力ください！



美作三湯芸術温度2025にご来場いただきありがとうございました。

今後のイベント内容の改善を目的にウェブ上でアンケートを実施しています。

スマホなどで、右上のQRコードからアクセスしていただき、簡単なアンケートにお答えいただくと、抽選で、岡山県の特産品や、美作三湯芸術温度2025の作品集（図録：非売品）をプレゼントします。温泉にアートがあるという体験をお楽しみいただいた皆様のご感想を是非お寄せください。

※景品等についての詳細は、美作三湯芸術温度2025のウェブサイトをご覧ください。

発行：岡山県環境文化部文化振興課

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6

Tel:086-226-7903(8:30～17:15/土日祝を除く)

